

作成日：2010年2月22日

## 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名	CLC チェーンスプレープラス		
会社名	都インキ株式会社		
住所	大阪市鶴見区放出東 1-7-13		
担当部門	技術課		
担当者	中田 敦嗣		
電話番号	06-6961-0101	FAX 番号	06-6961-0303
メールアドレス	gijutu_nakata@miyakoink.co.jp		
緊急連絡先	06-6961-0101		

整理番号 Z-PA600N-01

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

物理化学的性質	引火性液体	区分 4
健康有害性	急性毒性（経口）	分類できない
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：気体）	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	目に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発ガン性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性（単回曝露）	分類できない
環境有害性	吸引性呼吸器有害性	分類できない
	水生環境有害性（急性）	分類できない
	水生環境有害性（慢性）	分類できない

## GHS ラベル要素

絵表示	なし
注意喚起語	警告
危険有害性情報	可燃性液体。眼に刺激がある。

## 注意書き

## 安全対策

容器は、密閉しておくこと。  
 熱、火花、裸火、高温のもの等の着火源から遠ざけること。  
 保護手眼鏡、保護衣等を着用すること。  
 静電気等への予防措置を講ずること。  
 この製品を使用する時に飲食等をしないこと。  
 取扱い後（特に食事の前）は、よく手を洗うこと。

## 応急措置

皮膚についた場合	：直ちに水と石鹼で洗うこと。
目に入った場合	：直ちに多量の水で 15 分以上は注意深く洗い、医師の診断を受ける。
保管	：容器を密栓し、直射日光を避け、換気の良い場所で保管する。
廃棄	：内容物/容器は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：デリバリーチェーン用クリーナー兼潤滑剤

成分及び含有率：記載すべき成分の使用なし。

### 4. 応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移す。異常があれば医師の手当てを受ける。

目に入った場合：直ちに多量の水で15分以上洗い流し、眼科医の手当てを受ける。  
コンタクトレンズを用いている場合は、取除いて洗浄する。

皮膚に付着した場合：多量の水で石鹸を用いて洗う。皮膚に炎症を生じた場合は、医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：無理に吐き出させてはならない。牛乳または水を飲ませ希釈するとともに、速やかに医師の手当てを受ける。

### 5. 火災時の措置

消火剤：粉末、泡、二酸化炭素等

消火方法：移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。火元への燃焼源を絶ち、風上から適切な消火剤を使用して消火する。周辺の設備等に散水し冷却する。延焼の拡大を防ぐため、棒状の水を直接かけてはならない。

消火作業の際は、必ず防護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、防護具及び緊急時措置：

風下の人を退避させ、漏出した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。

付近の着火源となるものは速やかに取り除くか移動させる。

作業の際には必ず適切な防護具を着用し、風下で作業しない。

環境に対する注意事項

漏出した液が河川等に排出されないように配慮する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

漏出物は適切な方法で回収し、その後多量の水で洗い流す。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

皮膚、粘膜や着衣に触れたり、眼に入れたりしないようにする。取扱い後は手洗いとうがいを行う。

安全取扱い注意事項

適切な防護具を着用して取扱う。取扱い後は手洗いとうがいをを行う。

保管

適切な保管条件

直射日光を避け、涼しい定められた場所に密栓して保管する。強アルカリ、酸化性酸との混触を避けて保管する。

### 8. 暴露防止措置及び保護措置

設備対策：作業場は換気を行う。

管理濃度及び許容濃度：設定なし

防護具：保護眼鏡、保護手袋（ゴム手袋、ネプレン手袋）

適切な衛生対策：作業中は飲食、喫煙をしない。飲食、喫煙前には石鹸で手を洗う。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 製品の物理的及び化学的性質

外観	: 無色透明な液体
沸点	: 188～210℃
比重	: 0.85～0.88 (25℃)
引火点	: 65℃ (TCC)
蒸気圧	: <1 (25℃)
水可溶性	: わずかに溶ける

## 10. 危険性及び反応性

安定性	: 安定である。
反応可能性	: 重合性、自己反応性はない。
避けるべき条件	: 強酸化剤との混触を避ける
危険有害な分解生成物	: 刺激的で有毒な煙及びガス

## 11. 有害性情報

製品としての有害性情報	: 情報なし
成分化学物質の発ガン性	: 該当物質なし

## 12. 環境影響情報

製品としての有害性情報	: 情報なし
-------------	--------

## 13. 廃棄上の注意

そのまま廃棄せず、多量の水で希釈することで処理する。  
廃棄物の処理及び清掃に関する法律等、関係法令の定めるところに従う。

## 14. 輸送上の注意

容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
取扱及び保管上の注意の項の記載による。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	: 可燃性液体 (有機溶剤中毒予防規則：非該当)
消防法	: 第4類第2石油類 非水溶性液体
毒物及び劇物取締法	: 非該当
化学物質管理促進法	: 非該当

## 16. その他

## 参考資料

- 1) 製品安全データシートの作成資料 (改訂第3版) JIS Z 7250 : 2005 対応  
(印刷インキ工業連合会)
- 2) 原材料の MSDS
- 3) 製品安全データシート作成指針 改訂2版 (日本化学工業協会) 2006年5月発行
- 4) Hazardous Material Identification System (HMIS) <http://www.ilpi.com/msds/ref/hmis.html>

この「製品安全データシート」の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。

本製品を取扱う場合はこの記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じてください。  
本データシートは、安全や品質の保証書ではありません。